



Subaru

男声合唱団 ニュース№700 '19. 8. 21

昂「第9回団内コンサート」開催！

8月11日



□8月11日（日）13:30～16:00「昂第9回団内コンサート」がねむかホールで開催されました。今年は、ソロ独唱エントリー22名（1名都合で欠席）、デュエット：1組・2名、尺八演奏1名、そして、パートレッスンを重ねてきた各パートの3つのパート演奏、最後に森二三さんのピアノ独奏と多くの出演をいただきました。またピアノ伴奏を、T1・T2のパートレッスンや声楽教室でご指導いただいている中村聖保先生と森二三さんにお願いしました。団員の参加者は全32名でした。6名のお客様にも聴いていただきました。

□まず「開会の挨拶」を本並先生からいただきました。

「7月にタリン合唱祭（エストニア）に参加してきました。世界一の音楽祭（観客10万人、舞台で歌う集団1万5000人）合唱王国北欧・バルト3国。街中が歌っている！人々の心はやさしく、歌が本当に好きな国民。日本からも各地の合唱団員100名近くの参加者。歌で交歓する良い機会を得てきました。

昂も創設20年、今世紀初めに発足して2002年から舞台に立って表彰もされてきた。団内コンサートも9回欠かさず続けてきた。その成果が出てきている。一人で歌うのは大変！緊張されるだろうが、毎回きっちり勉強されてうたっているのがよくわかる。それを日頃の昂の合唱活動に生かして欲しい。一人一人が声を出して歌うこと、合唱も確実にうまくなります。」



□最初に、ヴォイストレーニングを中村聖保先生にしていただきました。またオープニングの祝歌として、ベルディの『椿姫』のアリア「そは彼の人か～花から花」を歌っていただきました。

□トップバッターは今年も大橋さんが、「かなしくなったときは」（寺山修司：詩 大中恩：曲）を歌われました。「大中恩のうたごころ、歌への思いを十分理解して歌いたい」と。



□初出演の米川さんが「ロッホ・ローモンド (Loch Lomond)」(Scotch Air:曲 近藤玲二:訳)をソフトで伸びやかな声で、「スコットランドの思い出・ローモンド湖」を歌いました。

引き続き、初出演の小西さんが、「出船」(詩:勝田香月 曲:杉山長谷夫)をT1の美声で歌いました。



□T1の中心、ベテラン陣、立川さんが「津軽のふるさと」(詩・曲:米山正男)を、若園さんが「はぐれコキリコ」(詩:もず唱平 曲:聖川湧)を、そして、初参加の吉岡さんが「かやの木山の」(詩:北原白秋 曲:山田耕筰)をそれぞれ味のある声と歌い方で歌われました。「昴のT1ここにあり！」納得のいく若々しい声が会場に響きました。



□B Rの西村さんが、シーベルトの「春の夢」(歌曲集「冬の旅」第11曲)を歌われました。長年親しんでこられたドイツリートの中からシーベルトの歌曲を選ばされました。



□1部の後半は、千秋教室の生徒の歌い手が続きました。

更家さんが「Danny Boy」(アイルランド民謡)を原語で、鈴木さんが「砂山」(詩:北原白秋 曲:山田耕筰)を、川妻さんが、ロシア民謡「郵便馬車の駄者だった頃」を、寺脇さんがシャンソン「枯葉」(訳:岩谷時子 曲:マスコ)を、向井さんがカンツオーネ「太陽の地」をイタリア語で、土井さんが、ロシア歌曲「私を責めないで」(訳:大胡敏夫 編曲:Mセミヨーノフ)をロシア語も交えて歌い上げました。日頃の千秋教室での声楽レッスンの成果が、それぞれの個性を引き出す歌に表れていました。



□休憩をはさんで、第2部は、高田さんの尺八演奏「月の砂漠」で始まりました。

「きょうも一人寂しく尺八を吹く。時には仲間と老人ホームに出かけ尺八を吹く。そして年に数回美しい女性に囲まれて合奏のよろこびを味わう。しかし今日も寂しく尺八を吹く・・」の名司会文。見事な尺八演奏！！

□今年の“仲谷・中谷デュエット”はウクライナ民謡「キエフの鳥の歌」(訳：木内宏治)を哀愁たっぷり歌ってくれました。

□今年もどんな曲を披露してくれるのか、楽しみなベテランのソリスト達。

山本直一さんが「カタリカタリ」(詩：コルディフェロ 曲：カルディロ)を、奥村さんが、「城ヶ島の雨」(詩：北原白秋 曲：梁田 貞)を、山本宏司さんが、カンツオーネ「くちづけ (il bacio)」(詩：G アルディギエレ 曲：G・アルディーティ)を、吉川さんが「からたちの花」(詩：北原白秋 曲：山田耕筰)を、そして大畠さんが、「明日にかける橋」(作・曲：P・サイモン)を、それぞれの名曲を自分の持ち歌として、“歌う楽しさ”を十分感じさせる演奏が続きました。





□ソロの終盤は、昂のコンサートのソリスト達が歌いました。伊藤さんが、オペラ「愛の妙薬」第2幕「Una furtive lagrima 「知れぬ涙」」(曲：G : Donizetti) を原語で熱唱されました。富樫さんが「ひとつの名前の兄弟の歌」(詞・曲：林 光)をバスの力強い声に作者の思いを込めて歌わされました。(林光の「ソング」の中の1曲。1981年作。アシェンデ・チリ人民政権を支援して) 最後に千秋さんが「三池の主婦の子守歌」(詩・曲：荒木 栄)を、「うたごえの歌」の代表的な名曲を、「愛と平和の歌い人：千秋昌弘が歌います」と、切々と心を込めて歌われました。



最後に、パート別演奏が続きました。月1回のパート別レッスンを重ねた各パートの歌。T1がアカペラで「おやすみ仲間達」(詩・曲：荒木栄)を、T2が「野ばら」(訳詞：近藤朔風 曲：ウエルナー)を、B.S・B.Rが ロシア民謡「囚われ人」(訳詞：合唱団白樺 伴奏編曲：森二三)を合唱しました。





□今年の森二三さんのピアノ独奏は、ショパンの「幻想即興曲」を演奏いただきました。

今年から、西應 静さんが辞められた後、昴のピアノ伴奏の中心となられて増え演奏力を高めておられる森先生の演奏に大きな拍手が送られました。

□今回の「団内コンサート」の特別企画として、千秋昌弘作詞・森二三作曲の組曲「満蒙の地「方正」の歌」（「方正は戦を物語る」「お母さん、会いたいです」「方正の青い空」「方正フィナーレ 新しい時代」）を初演されました。



□お客様の感想のなかからは、「昴のみなさんが音楽に対して真剣に取り組んでおられることがよくわかりました。人の声はすばらしい。聴いていて心に沁みてくる。イタリア語もロシア語も意味はわかりませんが、しかし、心に伝わってくるものがある。今日はじっくりと歌を聞かせていただいて楽しみました。ありがとう」と。

□最後に、副指揮者の伊藤さんから閉会の挨拶がありました。

「きょうは皆さんお疲れさまでした。（聴き手として）いくつもの驚きの連続でした。皆さん精進してこられて今日に臨んでおられる。生き生きとした、いい声で歌っておられました。うまく歌えた人は普段以上の力が出たのでは・・気になるところは、「フレーズの最後まで保つ、声を支えることがもっとうまくなつてほしい。身体づくりが大切。しっかりやつていきましょう。

今、昴で声楽教室に通っている人は20人を超みました。中村教室、千秋教室も増えて、ご協力いただいている。外の声楽教室も含めて、多くの団員が個人レッスンを習ってほしい。来年も団内コンサートで今年以上の演奏が聴けることを期待します。ご担当いただいた大畠・川妻・向井・小西さんをはじめ多くの関係者のかたがたに感謝します。ありがとうございました」

(※)「第9回団内コンサート」号がようやくできました。今回は、写真を多く入れ、歌い手のお名前(氏名の氏のみ)を書き、曲名と多少の司会文を入れました。聴かれた一人一人が講評者になってください。(編集子)

男声合唱団 昇 第九回 団内コンサート プログラム

日時:2019年8月11日(日) 集合13:00 開演13:30 場所:ねむかホール(昇の通常練習場所)

- | | |
|--|---|
| 1) 開会のあいさつ(本並美徳) | 17) 高田 和弘 尺八 月の砂漠 P:森 二三 |
| 2) 発声指導 中村 聖保 (昇声楽教室指導教師) | 18) 仲谷増廣・中谷清一
・キエフの鳥の歌 ウクライナ民謡 詞詞:木内宏治 P:中村 聖保 |
| 3) 大橋 一雄
・かなしくなったときは 詩:寺山修司 曲:大中恩 P:中村 聖保 | 19) 山本 直一
・カタリ・カタリ 詩:コルディフェロ 曲:カルディロ P:中村 聖保 |
| 4) 米川 黙
・ロッホ・ローモンド(Loch Lomond) 説:近藤玲二 曲:Scotch Air P:中村 聖保 | 20) 奥村 克美
・城ヶ島の雨 詩:北原白秋 曲:梁田貞 P:中村 聖保 |
| 5) 小西 隆
・出船 詩:勝田香月 曲:杉山長谷夫 P:中村 聖保 | 21) 山本 宏司
・くちづけ(il bacio) 詞:G.アルディギエレ 曲:G・アルディーティ P:中村 聖保 |
| 6) 立川 孝信
・津軽のふるさと 詩・曲:米山正男 P:中村 聖保 | 22) 吉川 勝彦
・からたちの花 詩:北原白秋 曲:山田耕作 P:森 二三 |
| 7) 若園 達雄
・はぐれコキリコ 詩:もず唱平 曲:聖川湧 P:中村 聖保 | 23) 大畠 成美
・明日に架ける橋 作・曲:P・サイモン P:森 二三 |
| 8) 西村 黙
・春の夢(Fruhlingstraum) 冬の旅第11曲 曲:シューベルト P:中村 聖保 | 24) 伊藤 知
・Una furtiva lagrima(人知れぬ涙) オペラ「愛の妙薬」第2幕から 曲:G・Donizetti P:森 二三 |
| 9) 吉岡 敬
・かやの木山の 詩:北原白秋 曲:山田耕作 P:中村 聖保 | 25) 富樫 龍一
・ひとつ名前の兄弟の歌 詞・曲:林光 P:森 二三 |
| 10) 墓 武
・琵琶湖周航の歌 詩:小口太郎 曲:吉田千秋 P:森 二三 | 26) 千秋 昌弘
・三池の主婦の子守唄 詩・曲:荒木栄 P:森 二三 |
| 11) 更家 幸雄
・Danny Boy アイルランド民謡 P:森 二三 | 27) パート別演奏 (T1)
・おやすみ仲間達 詩・曲:荒木栄 無伴奏 |
| 12) 鈴木 淳一
・砂山 詩:北原白秋 曲:山田耕作 P:森 二三 | 28) パート別演奏 (T2)
・野ばら 説詩:近藤朔風 曲:ウェルナー P:中村 聖保 |
| 13) 川妻 成美
・郵便馬車の取扱だった頃 ロシア民謡 P:森 二三 | 29) パート別演奏 (Br&Bs)
・囚われ人 P:森 二三 |
| 14) 寺脇 伸育
・枯葉 訳:岩谷時子 曲:コスマ P:森 二三 | 30) 森 二三
・ピアノ独奏 |
| 15) 向井 勝弘
・恋する兵士 訳:エイドロ・カワードー 曲:ヨコハマオ P:森 二三 | 31) お客様の感想 |
| 16) 土井 一正
・私を責めないで 訳:大胡敏夫 編曲:M・セミヨーノフ P:森 二三 | 32) 閉会のあいさつ(伊藤 知) |

<休憩>